

第3号様式

令和5年度 第3回東部公民館運営審議会会議録

(令和5年10月 作成)

- 1 開催日時 令和5年9月21日(木) 午後3時00分～午後5時13分
- 2 開催場所 東部公民館2階 第2会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 大塚委員長、加瀬委員、吉田委員、牧野委員、本間委員、蠣崎委員、春日委員
  - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
  - (1) 委員 舟橋副委員長
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
  - 公開 (1) 令和5年度 公民館事業報告(6月8日～9月20日)について
  - (2) 令和5年度 公民館事業計画(9月21日～12月6日)について
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
  - 公開 (1) 令和5年度 公民館事業報告(6月8日～9月20日)について 承認
  - (2) 令和5年度 公民館事業計画(9月21日～12月6日)について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和5年12月7日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和5年度 第3回 東部公民館運営審議会  
議事録

日	時	令和5年9月21日(木)
		午後3時00分～5時13分
会	場	東部公民館 2階 会議室2

午後 3 時 0 0 分開会

○東部公民館長

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和 5 年度第 3 回東部公民館運営審議会を開催いたします。

会議に先立ちまして、資料の確認ですが、緑の表紙の事業報告・事業計画一式でございます。よろしくお願いいたします。

事務局のほうですが、本日、館長補佐と事業担当職員が欠席させていただいておりますので、私のほうで進行を進めさせていただきます。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

○大塚委員長

館長さん、一人三役ご苦労さまでございます。

ただいま館長さんから事務方等、いろいろな部分でご挨拶をいただきました。私も何十年も東部公民館で務めさせていただいたのですが、館長さんが全てをやるというのは初めて聞きました。

それでは、ご挨拶ということですが、皆様もご存じのとおり、年々行政もいろいろな内容が細部にわたって、お子様から高齢者までいろんな問題が生じているのはご存じだと思います。特に私と加瀬委員さんは青少年センターや青少年問題協議会、社会福祉協議会とか、いろんな委員をやらせていただいておりますが、特に青少年問題については、子供たちと同時に、生活環境などいろんなところでいろんな問題が起きているというのは皆さんもご承知だと思います。

学校も、人数が少ない中でそれをやりくりしなければいけない。特に部活の関係がだんだん変わってきたということもありますし、そういう意味において、青少年の生活環境も少し変わってきているのかなと思います。

その中であって、公民館が船橋市には 26 館ございますけれども、行政と市民の間を取り持つ一番の場所が公民館だと思います。公民館は自由に自然に触れ合うことができるし、市民の方がサークルに入って、そこで皆さんと親しむというのも公民館であります。老若男女、希望すれば公民館の皆さんに教えていただいて、いろんな活動の場があります。

県内でも船橋は大きな活動ができている市ではないかと私の経験ではそう思っていますので、いかに館長さんはじめ職員の皆さんが努力をされているかということは十分に承知しております。全ての館を一回は現場を見るということで、全ての館に活動を見に行かせていただきました。通常ですと館長さんしかお会いすることはできませんが、全ての館の職員の皆さんとお話できたということは大変よかったなということと、やはりそれぞれの持ち場で一生懸命やっつけらっしゃる姿を見て大変うれしく感じました。我々

もささやかですけれども何らかの形でさらにお手伝いできればうれしいなと思いますので、館長さんはじめ皆さんには今後ともひとつよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

○東部公民館長

ありがとうございます。

それでは、ただいまから第3回東部公民館運営審議会を開催いたします。

委員8名のうち、本日は7名の方にご出席いただいておりますので、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、半数以上のご出席をいただいておりますので、この会議は成立ということで進めさせていただきます。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となるところでございますが、本日は運営審議会の傍聴希望はございません。

それでは、議事の進行につきまして、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により委員長が議長となりますことから、大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、9月21日、第3回の公民館運営審議会を進めさせていただきます。

本日の議題ですが、次第(1)「令和5年度 公民館事業報告(6/8～9/20)について」を、東部公民館長さんから順次説明をお願いいたします。委員の皆さんのご意見は、全公民館から説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館長さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。資料は1ページでございます。

6月8日から9月20日までの公民館事業につきまして、まずは青少年事業についてでございます。

「ハッピーサタデー事業」につきましては、6月から8月にかけて4回実施いたしました。特に、7月29日、8月26日と夏休み期間中に開催したハッピーサタデー事業については、猛暑の中の開催ではございましたが、公民館に来て、友だち同士楽しく、「手作りおやつを作ろう」についても、フルーツサンドイッチやゼリーをつくりながら、管区外の子供たちとも一緒になって、特にこのときは1年生、2年生、3年生の低学年の女の子たちが大勢集まって、みんなで頭巾をかぶりながら、楽しく有意義な交流を図られた事業だったと思っております。

続きまして、「東部地区5館合同事業『東部公民館のかべにおえかき大作戦』」についてお話しさせていただきます。

委員長、この件につきましては、ぜひとも各委員の皆様におえかき大作戦を実施した4階の講堂のロビーの絵を見ていただきながらお話をさせていただきたいのですが、もし

よろしければ、皆さんご足労おかけしますが、4階のロビーに移動していただくことはいかがでしょうか。

○大塚委員長

皆さん、よろしいでしょうか。

それでは、今、東部公民館長さんのほうから、4階のほうで見ていただきたいということなので、一旦、席を外していただいて、4階まで移動しましょう。

○東部公民館長

4階になりますので、エレベーターで上がってください。

○加瀬委員

エレベーターで上がって、下を向いていただいて、扉が開いたらさっと見ていただければいいと思います。

(4階講堂へ移動)

○東部公民館長

東部公民館改修工事により壁や天井等、すべて改修するので、改修前に何ができるかということで、白い壁にお絵描きをしましょうということで、白い壁だったところに、まずは公民館スタッフと千葉大学のボランティアの学生さん、それからイラストレーターのU-suke(ゆうすけ)さんという、大穴北小、大穴中学校出身の方を講師としてお招きし、まずは青い海を描かせていただきました。青い海を描いた中で、あとは子供たちが班ごとに分かれて自由に好きな絵を。あらかじめ子供たちは、家でこういったものを描きたいなということ調べてきてもらったり、または、始まる前に、講師の方から絵の描き方をご指導いただきながら描いていただいたところでございます。

子供たちの感想としては、「壁に絵を描くなんて初めての経験で、大変思い出に残った」等の声が寄せられました。9月末までは公開していることを、ご案内しておりましたので、次の土、日曜日には、お父さんやお母さんに絵を見てもらいに連れてきては、「僕の絵はこれなんだよ」とお話しされておりました。

○加瀬委員

いいですね、これ。最初で最後ですよ、このようなことをやるのは。

○東部公民館長

抽選で30名の方に来てもらって描いていただいたということで、改修に入りますとこの絵はもうなくなってしまいますので、写真に収めて、改修後には思い出の1ページを額で飾って残していこうかと思っております。

○飯山満公民館長

初めにカードもつくったんですね。お魚を描いてくださいと言っても描けないので、職員みんなでお魚図鑑からお魚とか海の生き物のカードをつくって、裏にどんな特徴があるとか、それもちゃんと書いて置いておいて、それを見ながら描いてもいいよという

ことにしたんです。職員たちはすごく準備をしました。

○加瀬委員

最初で最後だよ。きっちり写真に残しておきたいね。

○東部公民館長

広報課で、写真を撮ってもらいました。

○大塚委員長

いい経験をしたんじゃないのかな。

○東部公民館長

いい経験をされたということで、お父さんお母さんに喜んでいただきました。

○大塚委員長

これは誰が発想したんですか。

○東部公民館長

事業担当者の皆さんです。

○加瀬委員

子供たちにしてみれば最高だよ。

○大塚委員長

おもしろくていいです。

○牧野委員

いいですね、きれいですね。

(会議室に移動)

○大塚委員長

どうもありがとうございました。

○東部公民館長

委員の皆さん、ありがとうございました。

では、報告を続けさせていただきます。

続きまして、その下の「子ども日本語教室」につきましては、6月と7月にご覧のとおり開催している中で、今後、公民館は休館に入りますので、他の施設を借りて開催する予定でございます。

次のページでございます。成人の事業に続きますが、「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、6月から9月まで、資料掲載の参加人数により開催したものでございます。

続きまして、「はじめてのオンライン体験」と「はじめてのスマホ体験」、どちらもデジタルデバイド対策として実施している中で、Zoomの入門編、それから、キャッシュレス決済の操作につきまして開催したものでございます。Zoomの初心者の方がいらっした中で、学ぶことによってオンライン講座にも参加したくなったということで、オンラ

イン講座への参加のきっかけになったのかなと思います。キャッシュレスにつきましても、今まで興味はあったけれども、どんな仕組みか分からないから不安だと感じている人が、この講座をきっかけにキャッシュレス決済をやってみたいと感想が寄せられた事業でございました。

続きまして、「ベトナムってどんな国？」の事業については、東部公民館の新規事業として、事業計画シートに位置づけた事業でございます。多文化共生社会の理解を深めるといことで、次のページになりますが、6月に2回、7月に2回開催し、文化コースが6月15日、22日、料理コースとして7月1日、8日に事業を開催したものでございます。

文化コースについては、日本とベトナムの文化の違いやベトナム語での自己紹介、または一緒に歌を歌うなど、ベトナムの文化を学習する回。7月1日、8日については、ベトナムの料理として生春巻きや揚げ春巻きをグループごとに分かれてつくりました。

特に参加者からの共通した感想は、ベトナムの方、このグエン・ティ・チャーさんを含めスタッフが大勢いらしてくれて、一生懸命にこの講座に取り組んでいただいたという感想が非常に多かったです。または、お料理のときも、このグエン・ティ・チャーさんのほかのスタッフが各班に一人ずつ入ってお料理をつくったので、「お料理の話以外にもいろんなお話ができて、本当に楽しかったです」という感想が寄せられました。こういった多文化共生を目的とした国際理解講座というのは今後も続けてまいりちと思っています。

「家庭教育セミナー『モンテッソーリたんぽぽ子供の会家父母会家庭教育セミナー』」につきましては、去年からたんぽぽ子供の会と共催で開催して、今回も7月と9月に開催しまして、内容はご覧のとおりでございます。

次の「家庭教育セミナー『二宮小学校家庭教育セミナー』」については、おとといの9月19日に開催する予定だったのですが、インフルエンザが流行しているということで、急遽中止になった事業でございました。

続きまして、「健康に良い住まいとは」の事業について、これも事業計画シートの中で新規事業として、リカレント教育の一環として開催したものでございます。次のページに評価として書かせていただいているのですが、オンライン講座と併用して実施いたしました。5名の方がオンラインで参加され、特に10代の学生の参加が見受けられたところでもございました。健康的かつ快適に過ごすための家づくりのポイントについて、東邦大学の先生からご指導をいただきました。非常に分かりやすいお話ということで好評をいただき、「今後の住まいの考え方の参考になりました」とか、「省エネに対する考え方を少し変えられました」というような感想を寄せられたところでもございます。

高齢者事業につきまして、「福寿大学」を6月と7月に開催しました。休館に伴い7月で今年度の事業は終了したところでもございます。

「介護予防教室」につきましては、6月から7月にかけて認知症からフレイル、口腔機能などについて、第一興商の方に講師をお願いしご指導いただきました。第一興商はカラ

オケの会社でもございますが、当日、音響機器を持ってきてくださりまして、講堂の放送設備とは違ったすばらしい音質により懐かしい曲を流しながら当時の時代を思い出し、口ずさみながら体を使った体操などを全回を通して進めたところでございます。

次に、「シニアの応援セミナー」につきましては、3回講座で進めさせていただき中で、モルックや大人のリトミックを楽しみました。最終日には前原商店街のコーヒーショップを営んでいる方を講師としてお招きし、コーヒーの美味しい淹れ方のご指導を頂きました。コーヒーの香りを漂わせながら、潤いのある生活の過ごし方についてのヒントをいただいたところでございます。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」については、ご覧のとおり開催したところでございます。

その他に入りますと、「子育てサロン『アイアイ』」は4か月から1歳前後の方、次の「子育てサロン『ランラン』」は1歳から3歳前後。次のページになりますが、「親子交流講座」から「親子で楽しむおはなし会」までは、子育て支援事業として開催したところでございます。

この事業を通して、今夏、暑い日の中でもお母さんたちはベビーカーを押しながら参加していただきました。講堂という広いスペースにブルーシートを敷いて、ヨガやベビークラス、リトミックをとりいれながら、皆さんが集まって交流を深め楽しんでおりました。子供さんたちは音楽にきちんと合わせるわけではなく、とことこ走っていったり思い思いの過ごし方をしているんだけど、こういった他の親子と一緒に空間の中で過ごすことは、お母さんたちのリフレッシュの時間になるのではないかと思います。

続いて、「手話であそぼう！」でございます。私ども目玉事業として開催した中で、6月から3回のセミナーを開催させていただきました。6月には大塚委員長にもお越しいただきましてご覧いただいたところではあるのですが、最初の1回目は「聞こえないってどういうこと？」ということで、聴覚障害者協会の方を講師にお招きしてご講演をいただきました。7月にはボッチャという競技を通じて応援の仕方を手話で体験してみよう、8月の回は、2025年にデフリンピックが東京で開催されることもあり、国際手話について学習したところでございます。それぞれの講師の方につきましては、この講座に大変ご協力をいただきまして、共生社会の実現に向けた事業展開が進められたのかなと思っております。こういった共生社会の実現については、公民館事業としては、リーディングプロジェクトを率先して推進するテーマとして今後も続けていきたいと思っております。

「ファミリーコンサート」については、8月20日に親子で楽しむコンサートを開催したものでございます。

続きまして、「東部地区茶華道協会『いけばな展』」につきましては、毎年10月に開催してございますが、改修工事の関係で、暑い時期の中ではございましたが、7月22日、23日に開催いたしました。157名の方に日本の伝統文化であるいけばなをご覧いただき



ました。

「文化祭」につきましても、例年 11 月に開催ですが、改修工事のため、9 月 2 日、3 日という猛暑の中で開催させていただきました。例年は模擬店もにぎわっておりましたが、食中毒防止の観点から模擬店は中止しました。その中での開催でしたが、展示、発表部門とも、サークルの皆さんの力作または練習の成果を発表できたものと思っております。

続いて、「サークル活動見学・体験月間」については、これも新規事業として開催したものです。今回 23 団体が参加し、6 月 8 日から 28 日のおよそ 1 か月間、地域の住民の皆さんに「見学会を開催します。参加しませんか」とお声をかけたところ、50 名を超える見学者がいらしていただきました。その中で入会した方が実績としては 12 名いらしたというアンケート調査の結果が出てまいりました。サークルが減少化する中で、サークル支援事業を今後も継続して進めていきたいと考えてございます。

最後に、「卓球開放」については、ご覧のとおり 6 月から 9 月にかけて開催したものでございます。

東部公民館からは以上でございます。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。5 館全てのご説明が終わってから皆さんからのご質問を受けます。

続きまして、三田公民館さん、お願いいたします。

#### ○三田公民館長

三田公民館が 6 月 8 日から 9 月 20 日までに実施した事業についてご報告いたします。

まず、青少年の「ハッピーサタデー事業」ですが、記載のとおり期間内に 4 回実施いたしました。夏のお楽しみ会は三田児童ホームで毎年度実施しておりますけれども、昨年度の倍以上の子供たちが今年度は集まり、スーパーボールすくいや缶バッジづくりなど、いろいろなコーナーを巡り楽しみました。9 月 16 日の「軽スポーツで楽しく遊ぼう！②紙サッカー」の人数が抜けておりますので、記載をお願いいたします。男 8 名、女 5 名、計 13 名でございます。

続いて、「夏休み職業研究講座『看護師』」は、近隣の東邦大学健康科学部看護学科から講師を招き、看護師について学んでいきました。看護師の仕事の内容の説明の後、聴診器で心臓の音などを聞き、子供たちがつくった肺の模型でその仕組みを教わりました。看護師の仕事について真剣に楽しく学んでいる姿が見られました。

続いて、成人対象です。生涯学習コーディネーターとの協働で実施しております「三田セミナー 前期」は、健康とくらしをテーマに、4 回にわたり実施いたしました。前回報告いたしました歴史探訪、森林浴に続き、今回はヨガによる身体の観察方法や、呼吸に合わせて全身をストレッチし、リラックスする方法などを体験いたしました。後期も引き続

き生涯学習コーディネーターと協働で、様々な観点から健康とくらしをテーマに取り組んでいく予定です。

続いては、三田習地区社会福祉協議会との共催事業「高齢者介護教室」でございます。三山・田喜野井地域包括支援センターから講師を招き、介護予防体操を行った後、高齢者介護や認知症について学びました。家族や自分自身に介護が必要になったらどうしようかと不安を抱えている方も多いと思うので、今後も継続して実施してまいります。

次の「古文書の読み方」は、古文書の形態や形式、くずし字の成り立ちを学ぶとともに、古文書を読み解くコツなどについて、初めて受講される方にも分かりやすく講義していただきました。

次の「スマホ活用講座」は、記載の日時で実施いたしました。LINE 入門編につきましては70代から80代の方のみの参加でしたが、お財布ケータイやペイペイ等のキャッシュレスを学ぶ応用編は、50代、60代、70代、80代の方から1名ずつ参加があり、年齢に広がりが見られました。

次の「<はじめてのフラ！>フラ教室～楽しく体力・筋力アップ！～」は、今年度の新規事業となります。フラダンスは文化祭や寿大学等の発表でも大変人気があり、年齢に関係なく楽しみながら体力づくりを図れることから実施いたしました。これまでの三田公民館での体力づくりを図る講座は70代の参加者がほとんどでしたが、今回の講座では40代から60代の参加者が多く見られました。

続きまして、高齢者対象です。「三田寿大学」は、期間内に記載のとおり3回実施いたしました。9月14日のベトナム文化講座は、ベトナム人国際交流員のグエン・ティ・チャー氏を招き、ベトナムの文化や魅力についてお話しいただきました。受講生は、映像やクイズを交えながらの説明に驚いたり笑ったり、真剣かつ楽しく講師との交流を図りながら受講しておりました。船橋市のベトナム人の人口が増える中、異なる文化を持つ人々に理解を深めるよい学習機会となりました。参加人数が抜けております。男性が11名、女性が47名、計58名です。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり実施いたしました。9月19日の参加人数が抜けておりますので、ご記入のほどお願いいたします。男性が1名、女性が23名、計24名でございます。

続きまして、三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業でございますが、昨年度までコロナ禍で中止となっていたものも今年度から再開されるようになり、室内ペタンク大会、ガンバルーン大会、ダーツ大会、ワナゲ大会を期間内に実施いたしました。高齢者が交流を図りながら無理なく健康増進を図れるよい機会となるので、来年度も共催事業として実施していければと考えております。

続きまして、その他の事業です。「防災講座」は、生涯学習コーディネーターと協働で毎年実施しておりますが、今年度はご家族での応募も8組ございまして、家族で防災につ

いて考えていただくよい機会にもなったと思います。

「おひさまクラブ」は期間内に3回実施いたしました。参加人数の親子の内訳が記載されておりませんので、ご案内いたします。6月14日は、保護者が男0名、女2名、子供が男1名、女1名でした。7月19日は、保護者が男1名、女4名、子供が男3名、女1名となっております。9月20日の「栄養士のお話」は、保護者は、男0名、女1名、子供は、男0名、女1名です。栄養士のお話は、広報、ホームページ、フェイスブック、その他チラシを配布したりいろいろな形でお知らせしたところですが、親子1組の実施となってしまいました。今後はこちらの事業については参加者の募り方、日時、曜日等について考えていきたいと考えております。

続きまして、「土曜卓球開放」は、記載のとおり毎月第1土曜日に実施いたしました。

三田公民館の事業報告は以上となります。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、習志野台公民館、お願いいたします。

#### ○習志野台公民館長

習志野台公民館、6月8日から9月20日までの事業についてご報告いたします。

青少年事業でございますが、記載のとおり「ハッピーサタデー事業」を、6月は「忍者になろう！」をボーイスカウト第14団との企画により、7月はマリンバとビブラフォンのコンサート、8月は児童ホームとの共催により子ども映画観賞会、9月は小学生親子を対象にした千葉工業大学スカイツリータウンキャンパスの見学を実施いたしました。どの事業も比較的参加者が多く、9月9日は親子での参加でもあり、楽しんでいる姿が印象的な事業となりました。

次に、「デジタルデバインド対策事業」といたしまして、親子プログラミングを開催いたしました。親子でいろいろ考えながら思考して命令をロボットに出し、大変楽しくプログラミングを親子で学ぶことができたと考えております。

次の「夏休み子どもポスター教室」、それから、その次のページの「夏休み読書感想文講座」、「夏休みエコ教室」につきましては、夏休みの宿題応援講座として企画いたしました。

まず、「夏休み子どもポスター教室」でございますが、こちらは先ほど合同事業で壁を皆さんに見ていただいた講師の U-suke（ゆうすけ）さん、同じ講師の指導によりポスターをつくることができ、また、最後に子供たちみんなで講評するなど、楽しくポスターづくり、宿題ができたと考えております。

「夏休み読書感想文講座」、「夏休みエコ教室」につきましては、評価記載のとおりでございます。

次に、「夏休み子ども将棋教室」でございます。こちらは、初心者向け、経験者向けの

2つのコースに分けて今年度は開催いたしました。将棋はここ数年人気の事業となっております。参加する子供たちの将棋の理解度が様々であるため、コースを分けて実施いたしました。初級者といっても、経験がある子もいれば、全く触れたことのない子もおり、この辺りは来年度の講座でうまくすみ分けができればと考えております。経験者向けの講座のほうは、それぞれ児童が別々に対局をしていきながら順位を決定して、1位から3位まで表彰するというような形で開催いたしました。

次のページに行きまして、成人事業でございますが、「家庭教育セミナー」は、「ママリフレッシュ☆親子フィットネス」を習志野台児童ホームとの共催で開催いたしました。親子で楽しくリフレッシュをし、コミュニケーションを図ることができました。

続きまして、「デジタルデバイド対策事業」といたしまして、記載のとおり「触って体験！スマホの基本とLINE体験」を開催いたしました。

その次、「デジタルデバイド対策事業」の一つ、「買う前にわかる！スマートフォン体験教室」も開催いたしました。

次の「サークル応援講座」でございますが、習志野台公民館登録のパソコンサークルM2005さんを講師に開催いたしました。こちらは即日で入会者が1名あったり、また、ちょっと様子を見てみようかなという人もいらっしやったりで、サークルの人数拡大や活性化につなげることができたと考えております。

次のページに行きまして、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」を記載のとおり、6月は「交通安全・防犯講話」、7月は「医師講座」として耳の機能について学びました。6月の防犯講話は、警察署の方の寸劇などもあり、楽しく学ぶことができたと考えております。7月の医師講座に関しても、皆さん終わった後に質問が非常に多くて、関心が高かったようです。

続きまして、「ハッピーサロン」を記載のとおり開催しております。

次の「デジタルデバイド対策事業」でございますが、こちらはスマホを使わずSNSのトラブルとかフィッシングメールなどの話を中心に開催しました。

参加者の方も熱心に質問があり、情報セキュリティに対する関心の高さというのものがえたとおもいます。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「習老協支援事業」を記載のとおり開催いたしました。9月3日に開催された習老協文化祭でございますが、こちらはコロナ禍もあり4年ぶりの開催ということになりました。それほどたくさん参加者があったわけはありませんが、皆さん各自楽しむことができていたようです。

大変申し訳ございません。9月3日の習老協支援事業の下に1つ追記をお願いしたいのですが、「9月14日、9時～12時、グラウンドゴルフ大会」がございました。参加人数は、男15、女19、合計34名でございます。

最後に、その他事業でございます。「おもちゃの病院」、「将棋開放」、「卓球開放」

を記載のとおり開催いたしました。

ページ変わりました、「子育てサロン」も記載のとおりでございますが、人数の記入をお願いいたします。9月14日、男2、女10、計12名でございます。

習志野台公民館は以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の事業報告をさせていただきます。

初めに、青少年対象、「ハッピーサタデー事業」です。6月から9月まで記載のとおり行いました。8月は毎年恒例の卓球教室で、今までは当館の社会教育関係団体の卓球サークルの方に教えていただいたのですが、今年からは学社連携として飯山満中学校の卓球部の生徒さんを講師に、地域の小学生に卓球を教えてもらいました。全くラケットに球が当たらなかった児童も、中学生のやさしい教えで、終わりにはしっかり球を打つことができるようになっていました。中学生も1年生がほとんどで、部活を始めて数か月しかたっていないため、初めはどう教えたらいいか戸惑っていましたが、時間がたつにつれて慣れてきて、小学生にも中学生にもどちらにとってもよい経験になったようなので、今後も続けていければよいなと思っております。

9月は児童ホームで缶バッジ作成を行いました。参加人数のご記入をお願いいたします。男5名、女14名、合計19名でした。表面に絵を描いたり、キャラクターが描かれたシールを貼ったりして、皆思い思いのデザインの缶バッジを作成していました。缶バッジをプレスして完成させるマシンの調子が悪く、参加者を待たせてしまったこともありました。完成した缶バッジを見て喜んでいました。

次に、「夏休み宿題応援企画 理科実験教室」です。千葉県立船橋東高等学校の理科部の顧問の先生と生徒さんに講師をお願いしました。今年度が2回目になります。生徒が考えた5つの実験工作のブースに小学3年生から6年生の24人が、やりたいものを2つずつ選び、順番に製作しました。ただつくるのではなく、なぜそうなるのか現象の説明を受けてからの製作となりました。家に持ち帰り、別の材料でつくってみたり工夫したりして分かったことをまとめ、出来上がった工作物と合わせて自由研究として提出してほしいと顧問の先生からお話をいただき終了しました。講座後のアンケートでは、「難しかったが高校生がやさしく教えてくれたので楽しかった」、「また参加したい」など、小学生はとても楽しく学べたようです。また、高校生は「小学生に教えることは初めてだし、小学生が理解できる説明をしなければならなく、よい経験になった」ということです。小学生にも高校生にもよい経験となるため、今後も継続していきたい講座です。

次に、「Pepperが先生～防災教育『大雨編』」です。こちらは新規事業になります。小

学校5年生の理科に気象単元があるので、飯山満小にご協力いただき、授業の中で行いました。「大雨が続くとどんなことが起こる」、「大雨の災害に遭わないためにどんなことをしたらいいか」などのPepperの質問に、まず一人一人ワークシートに記入し、その後、周りのお友達と意見を出し合い、発表する形で行いました。途中、実際にあった大雨の災害、例えば数時間前まで親子で遊んでいたひざ下ぐらいの深さの川が、数時間後にはどんどん水位が上がり、川上から木の枝などたくさんのが流れてくる動画などを見せていただくと、児童は声を上げて驚いていました。児童がPepperの質問に対し記入しているワークシートを見せてもらったのですが、気象の単元を勉強しているせい、それぞれとてもよい内容が書かれており、感心させられました。大雨についてみんなで意見を出し合うことで、改めてふだんからどんなことに気をつければよいかという学習ができ、また、初めて見るPepperの頭や柔らかくちゃんと関節のある指などに触らせてもらい、貴重な時間になったのではないかと思います。

次に、成人対象事業の「初めまして公民館～フルーツカービングの世界～」です。こちらも新規事業です。公民館に足を踏み入れたことがない市民を呼び込むことと、利用率の低い実習室の使用を狙いとしました。広報への写真掲載や近隣小学校の保護者向けにチラシを配布したこともあり、平日の日中でも新たな参加者を獲得することができました。今後の新しい利用者層の開拓につなげる大きなヒントとなる価値ある講座になりました。専用のナイフでメロンをバスケットの形に持ち手をつくり、繰り抜いた実を詰め、型で繰り抜いた飾りをつけます。同じ道具や材料を使用したのですが、それぞれ個性が出る出来上がりになっていました。

次に、「はさま学びの泉～何倍も楽しくなる世界遺産の旅～」です。こちらも新規事業です。敬愛大学生涯学習講師から世界遺産について2回の座学で学び、3回目は東京で唯一の世界遺産である国立西洋美術館を中心に上野公園周辺の建物見学を行いました。アンケートでは、「どちらの講師も大変分かりやすかった」と、良い評価をいただきました。世界遺産について学ぶことで、国内外の文化への関心を持っていただけたのではないかと思います。

次に、「Zoomでボイトレ～カラオケ90点越えも夢じゃない～」です。こちらも新規事業です。当館では初めてのZoomによる講座でした。Zoomでの講座と分らずに応募される方が何名かおり、Zoomだと分かるとキャンセルされたり、当日直前になってどうすればよいか確認する方もいて、ふだんから仕事等でZoomを利用されている方以外はまだまだ難しいと感じました。また、Zoomだと無料でつながる時間が限られているため、何度かつなぎ直す作業が必要になったり、主催者側の公民館も入念な準備が必要であることが分かり勉強になりました。ボイトレは参加者が少なかったこともあり、それぞれ丁寧な指導で学ぶことができました。

次に、「デジタルデバイド対策講座 かんたん入門編」、こちらは記載のとおり行われ

ました。

次に、「飯山満寿大学」です。6月は大河ドラマで話題の「誤解だらけの徳川家康」について歴史学者の渡邊先生にお話しいただき、7月は足裏セラピストによる「足裏リフレ～足裏のツボから体の不調を知ろう！～」で、足裏にある体の各部位のツボを習い、足もみの効果的な手順を教わりながら、実際に自分の足をもんでみました。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の7月、8月は、記載のとおり行いました。

次に、「総合型介護予防事業 ずーっと元気！健康教室」は、オウカス船橋による5回講座を記載のとおり行いました。当館初めての講師で、高齢者にとっては例年よりもハードかなと感じましたが、アンケートでは「5回だけではなく、ずっと続けたい」、「難しかったが、ついていこうとする気持ちになれたことがよかった」など、満足感が高かったです。特に途中で行ったアップテンポの曲に合わせて踊るエアロビクスの評判がとてもよかったです。高齢者だから無理をさせないようにと初めから簡単なものを企画するのではなく、参加者の様子を見ながら達成感を得られるような内容を考えることも大切だと感じました。

次の二宮・飯山満地区社会福祉協議会と共催の「シルバー男性料理教室」は、6月、7月を記載のとおり行いました。

次に、「ゆびとま子育てサロン」は、6、7、8月は記載のとおりです。

次に、「飯山満公民館でグランドピアノを弾いてみよう」です。昨年度の1月から複数館で行い、今年度当館単独で行った事業です。なかなか弾くことができないグランドピアノを広い講堂で演奏ができるため、とても好評ではあるのですが、より多くの方に公民館を利用させていただき取り組みで始めたものが、途中からはリピーターの方が大分増えている状況になり、また、他の団体がピアノを利用する際、設備料をお支払いいただいているのに、この事業だけお部屋代も設備料も無料なので、一定の成果が出たところで終了することといたしました。

最後に、「本館家庭教育セミナー」です。こちらは飯山満南小学校のPTAさんと共催で行いました。日程が決まっていませんでしたので、前回の計画には載せておりませんでした。セルフケアインストラクターをお呼びして、植物由来のアロマの効能、アロマを使った虫よけスプレーづくり、ハンドマッサージの仕方を教えていただきました。小学生だけでなく幼児も一緒に講座でしたので、最初はとてもにぎやかだった会場も、虫よけスプレーづくりになるとみんな真剣に作業をしていました。よい香りの虫よけスプレーができ、とても喜んでおりました。ハンドマッサージでは、お子さんがお母さんの手を一生懸命もんでいました。ふだんなかなか親子で時間を取って一つのことを行うのは難しく、お母さんにとってもお子さんにとっても貴重な触れ合いの時間になりました。

飯山満公民館は以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、事業報告の最後を、薬円台公民館さん、お願いいたします。

#### ○薬円台公民館長

薬円台公民館の事業について報告させていただきます。

青少年事業、「ハッピーサタデー推進事業」となります。「ユニバーサルスポーツに挑戦！」では、卓球、バレー、ボッチャなど、多くの保護者も一緒に参加し、楽しく過ごしました。「子ども和太鼓教室」では、各回多くの子供が集まり、本物の大きな太鼓に触れ、楽しい体験をしました。「勾玉づくり」では、一生懸命研いでつるつるピカピカにすることに夢中でした。自分だけの勾玉のネックレスが出来上がりました。「夏のおたのしみ会」は、児童ホームと共催で行い、2部制で乳幼児親子の時間と小学生の時間に分け、各回とも定員いっぱいの申し込みがありました。小学生の部では、各ゲーム上位3人にもらえる手づくり金メダルゲットのために何回もゲームに挑戦していました。夏休みを意識した体験学習の場となりました。

続きまして、目玉事業に挙げております「夏休み理科教室」になります。薬園台高校との初めての連携事業で、化学部顧問と化学部生徒とボランティアの生徒14名の協力のもと実施いたしました。当日の進行や司会、準備、実験のフォローは、高校生が主体となって行いました。実験はラテックス（白いゴムの液）にレモン汁（酸）を混ぜて液体が固まったら素早く手で丸めてゴムボールをつくるものでした。簡単だけれど楽しい実験となりました。ふだん交流する機会が少ない小学生と高校生ですが、すぐに打ち解け楽しい時間となりました。おとなしい小学生には高校生から意識して積極的に話しかけるなどしていました。

続きまして、「学社連携事業 クラブ活動支援事業」につきましては、2回目の指導を実施いたしました。

ページをめくりまして、「やくえんだい楽学講座」になります。「4回ともすてきな先生の講座を受けられ、いい時間を過ごせた」という感想をいただくなど、バランスの取れた充実した内容となりました。4回目のコンサートは公開講座とし、119名の方に参加していただき、情熱的でパワフルな歌声に「また聴きたい」という感想を多くいただきました。

続きまして、「薬円台ふれあいコンサート」になります。「琵琶弾き語りコンサート、ギターと歌とともに」を行いました。初めて琵琶を聴く方が多く、琵琶とその語りに古典の世界に引き込まれました。また、琵琶とギターという組み合わせのイメージが難しかったのですが、琵琶の音色とギターの響きが本当にすばらしく、あっという間に時間が過ぎました。

続きまして、「スマートフォン講習会」になります。初心者向けの基本操作等の講座を開催いたしました。スマホのチラシに入門編、基本編、応用編の難易度を星で示すなどし



て分かりやすくし、入門編と基本編を同時募集して、所有していない層、今回 10 人中 5 人が持っていない方だったのですが、受講の掘り起こしができました。

次に、生涯学習コーディネーターとの共催事業になります。「講演会『ロボットの話をしてしよう。』」です。通常、参加者は女性が多いのですが、今回の講座はロボットということもあり男女半々の参加となりました。ロボットの進化を動画を交えながらの話があったり、また、最近の ChatGPT や AI の話など、とてもおもしろく興味深い内容となりました。

次に、環境講座になります。「『森のしくみ』～循環型生ごみリサイクル～」の講座になります。申込対象を小学生から成人としたため、申し込む側が子供寄りの講座なのか大人寄りの講座なのかどっちなのと迷ってしまうところがありまして、当初は申し込み状況が芳しくなかったのですが、最終的には 31 人という多くの参加をいただき、親子や祖母と孫などの参加もありました。講座 1 では、深刻な地球温暖化の現状と今後の予想、気温上昇を止めるために個人でできる 10 の行動の話、講座 2 では、腐葉土を利用した循環型生ごみ堆肥づくりの体験をしました。腐葉土を入れたバケツに生ごみとしてバナナの皮を入れ、分かりやすい堆肥作りの体験をしました。講話と体験の組み合わせなので、興味を持って学ぶことができました。この講座は 1 か月後にフォローアップ事業を行いますので計画にも記載をしております。

次は高齢者事業、「やくえんだい福寿大学」です。2 回目から 4 回目の講座を実施いたしました。9 月 19 日、気候変動と災害について的人数のご報告をさせていただきます。男性 15 人、女性 52 人、合わせて 67 人でした。ハープコンサート、熱中症対策、気候変動と災害を学びました。その季節に気をつけてほしいこと、学んでほしいことを織り交ぜ、多くのことを感じてもらえるよう講座を組みました。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」になります。人数が徐々に戻ってきており、男性の参加が少しずつ増えてきております。

続きまして、「やくえんだい軽スポーツフェア」になります。薬円台地区町会自治会連絡協議会、薬円台地区スポーツ推進委員、薬円台青少年相談員、薬円台児童ホームと連携し、薬円台小学校の校庭、体育館で行っているイベントとなります。当日は雨により校庭で行うグラウンドゴルフが中止となりましたが、予想以上の人出があり、昨年とあまり変わらない人数の参加になりました。身近な地域で楽しむイベントとして根づいているということが実感できました。

その他事業です。「カンガルーぽっけ」になります、児童ホームを利用されている親子や、一度参加された親子のリピーターの参加などもあります。ミニイベントを組んだ回は申し込みが多くあります。参加人数が少ない回は、気候などによりお子さんの体調がよくなり、欠席が多かったことが理由となります。様々な体験ができるよう、また親御さんの育児の不安を共有したり払拭できるよう、保育ボランティアや講師がついて事業を行って

おります。

続きまして、「地域緑化支援事業」になります。薬園台駅前花壇と線路沿いの三角形の花壇に植えた花の管理を引き続き行っております。

薬園台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

5館の館長さんには、9月までの事業についていろいろご苦勞おかけして、また市民のためにいろいろな行事をつくっていただきまして、ありがとうございました。

今の報告において全公民館さんからご報告をいただきましたが、委員の皆様の方でご質問、ご意見がありましたら、挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

○牧野委員

どちらの館長さんたちも新しく来てほしいという気持ちがよく分かって、いろんな工夫をされているなと思えました。東部公民館さんの例えば「健康に良い住まいとは」では、10代の学生さんがオンラインで参加したと。そこに至るまでの、どんなふうに通じたのか、どんな広報をされたのでしょうか。

○東部公民館長

広報ふなばしやフェイスブックに掲載してご案内をしております。

○牧野委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

いかがでしょうか。ほかにご意見はないでしょうか。

それでは、各公民館一括して承認の採決を採らせていただきたいと思います。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全公民館からの事業報告につきましてご承認をいただきました。

それでは、続きまして、次第(2)の「令和5年度 公民館事業計画(9月21日～12月6日)について」、東部公民館さんより順次説明をお願いしたいと思います。

館長さん、お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。9月21日から12月6日の事業計画について説明させていただきます。資料は計画ページの1/21ページでございます。

青少年事業からでございます。最初に、「ハッピーサタデー事業」については、9月10月、11月と3回を計画してございます。特に9月24日、もう今週になるのですが、バス

ハイクということで筑波山に行つてまいります。青少年相談員の東部ブロックの方々のご指導、ご協力をいただきながら、小学校3年生から6年生までの子供たち40名ということで予定しております。筑波山の登山を通して自然に親しむと同時に、子供たちの交流を図つてまいりたいと思つています。

成人教育でございます。東部公民館は9月をもって休館いたしますので、事業を開催する場所につきましては、地域の学校等を利用させていただき事業を展開いたします。成人の「心も体も喜ぶ体にやさしい健康体操教室」につきましては、10月以降は前原小学校をお借りして健康体操教室を実施するものでございます。

続きまして、「はじめてのスマホ体験」につきましては、LINE体験ということで9月27日に開催する予定でございます。

「家庭教育セミナー『モンテッソーリたんぽぽ子供の会父母会家庭教育セミナー』」につきましては、3回シリーズの最終回を迎える中で、親子でジャズを楽しむということで、会場についてはホール形式である二和公民館の会場を利用して、ジャズコンサートを親子で楽しんでいただく企画をしているところでございます。

次のページです。「家庭教育セミナー」は、二宮小学校との共催事業で、「心肺蘇生法・AEDを学ぼう」ということで予定しているものでございます。

続きまして、「就学時健診等における子育て学習」でございます。毎年度開催している中で、公民館区の小学校、二宮小学校、前原小学校、中野木小学校の3校が該当します。来年度入学する子供さんの保護者を対象とした子育て学習会ということで、それぞれのテーマの内容に基づいて開催するものでございます。

高齢者に入ります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましても、9月29日に最終回を開催する予定です。

「東老連支援事業」としては、東部地区の老人クラブ、また、東部公民館区の老人クラブとの共催事業として、それぞれ輪投げ大会、また、グラウンドゴルフ大会につきましては、薬円台公園の広場を利用した中での大会を開催するものでございます。

次のページ、その他でございます。「子育てサロン」の「アイアイ」、「ランラン」、「おしゃべり広場」、「子育て支援講座『親子交流講座』」、「オータムコンサート」につきましては、10月以降、会場は前原児童ホームで開催する予定でございます。報告と同様に、ベビーマッサージやリトミック、保健師のはなし、絵本の読み聞かせを開催するものでございます。

「オータムコンサート」につきましては、同じく前原児童ホームということで、乳幼児や小学生を対象に親子の触れ合いや情操教育の一環として開催するものでございます。

最後に、「東部公民館 Special コンサート」ということで、「また会う日まで」をサブテーマに、休館前の最終日9月30日（土）に、ピアニストとパーカッションの方々の音楽をコンサート形式で120名の定員で開催する計画を立てているものでございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の事業計画につきましてご説明いたします。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」は、期間内に2回実施予定でございます。

1つ目は、東邦大学 TOHO ボランティア部を講師に実施いたします「親子理科実験教室」です。平成27年度から実施している人気の高い講座でございます。毎回、東邦大学の実験教室をお借りして実施しております。

2つ目、「秋のお楽しみ会」は、みるこんこう合奏団を招き、コンサートを実施いたします。秋のお楽しみ会は、毎回、三田習地区自治会連合協議会、西田喜野井町会のご協力をいただき実施しております。

続きまして、成人対象です。「家庭教育セミナー」ですが、三田公民館区の小・中学校で、年度1校ずつ順番に実施しております。今年度は三田中学校で記載のとおり実施いたします。4回目の開催日時は調整中でございます。

次に参りまして、東京都内の史跡や旧跡を散策しながらその歴史を学ぶ「小さな旅・歴史散歩」です。今年度は関東大震災から100年ということで、その関連施設などを散策してまいります。

続きまして、「大人の学びなおし講座」でございます。日本証券業協会から講師を招き、金融・証券の基礎知識について学ぶ講座を実施してまいりたいと思います。2022年4月より、高校生の金融教育が始まりましたが、大人が気軽に金融教育を受講できる場所が少ないのではと考え、実施することといたしました。

次の、「三田老協みんなで歌おう」は、三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業となります。老人クラブの会員だけではなく地域の住民にも参加を募り、バンド演奏で唱歌や歌謡曲などを歌う予定でございます。

次のページ、「就学時健診における子育て学習」は、就学時前の健康診断に合わせて毎年度学校と共催で実施している講座です。三山小、三山東小、田喜野井小で表記のとおり実施いたします。

次の「高齢者介護教室」は、先ほど事業報告でも報告いたしましたけれども、2回目となります。

続きまして、「三田セミナー 後期」は、前期に続き「健康と暮らし～マイライフシリーズ～」をテーマに、生きがいある豊かな生活を送っていただくことをねらいとして、生涯学習コーディネーターと協働で表記の講座を開催してまいります。

続きまして、高齢者対象事業でございます。「三田寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載の日程で実施してまいります。

次の三田公民館区老人クラブ連絡協議会との共催事業「三田老協グラウンドゴルフ大会」は、三田中学校のグラウンドで開催いたします。

最後に、その他の事業でございます。

まず、「第46回三田公民館文化祭」でございます。10月28日、29日の両日にわたり実施いたします。今年度は展示部門、スポーツ発表部門、音楽芸能部門に加え、コロナ禍で中止しておりました模擬店も再開いたします。

「土曜卓球開放」は、期間内の第1土曜日に実施いたします。

続きまして、「三田習地区ソフトボール大会」は、三田習地区自治会連合協議会との共催で実施する予定でございます。日程は調整中です。

最後に、「おひさまクラブ」は、親子ピクスを表記の日時で実施いたします。

三田公民館からは以上でございます。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館さん、お願いします。

#### ○習志野台公民館長

習志野台公民館9月21日から12月6日までの事業計画についてご説明いたします。

青少年事業でございます。「ハッピーサタデー事業」を、10月は習志野台児童ホーム創立50周年記念として、「ハロウィン・スペシャル」と題し開催いたします。11月は「ペッパー君と学ぶ防災教室」を開催いたします。

続きまして、成人事業でございます。今年度目玉事業とさせていただいております「リカレント教室」でございます。元ラジオ局アナウンサーの屋木綾伊子さんを講師に迎え、呼吸法、口元の筋トレ、感じのよい受け答えなどを学ぶ予定でございます。ターゲットといたしましては、働く世代の40代、50代女性を考えております。年代はちょっと分からないのですが、現時点で19名の応募があって、うち男性が2人ということで聞いております。

次の「家庭教育セミナー」は、全4回中の3回目として、「親子で楽しむわらべうた」ということで実施をさせていただきます。

続きまして、「地域再発見講座～秋の散策」でございます。こちらは春と秋に行っている恒例の事業でございますが、春のほうは雨が降ってしまい散策に行けなくて座学講座になってしまいましたので、今回は行けることを祈っておりますが、近隣地区の歴史を訪ねるものとなっております。

次の「国際交流講座」でございます。ペルーについて学び、理解を深める講座として設定いたしました。初回は座学にてペルーについて学び、2回目で料理をつくることを通し

て理解を深める内容としております。

次の「バリアフリー映画会」は、東図書館と共催で実施いたしますが、内容等は未定でございます。申し訳ございません。

「習志野台公民館歴史講座」でございます。こちらは習志野台地区生涯学習コーディネーターとの協働事業でございます。市学芸員を講師といたしまして、取掛西貝塚について学ぶ講座を予定しております。

続きまして、高齢者事業でございます。「習志野台寿大学」は、9月にエンディングノートについて学び、10月は明治安田生命の方を講師に迎えて、睡眠についての学習を行う予定でございます。

次の「ハッピーサロン」、「ふなばしシルバーリハビリ体操」につきましては、記載のとおり開催予定でございます。

次のページに行きまして、その他事業でございます。「習志野台公民館 文化祭」として、10月21日、22日に、文化祭を実施いたします。今年度は模擬店も開催予定でございます。発表が16団体、作品展示に12団体、模擬店・フリーマーケットとして3団体の参加で予定をしております。

次の「就学時健診における子育て学習」でございますが、習志野台公民館管轄区は3校ございますので、それぞれ高郷小、習志野台第一小、習志野台第二小の3校で実施、記載のと通りの予定でございます。

次に、記載のとおり「おもちゃの病院」を開催いたします。

ページ変わりました「将棋開放」、「卓球開放」、「子育てサロン」を開催いたします。

最後でございますが、習志野台地区社会福祉協議会との共催であります「福祉まつり」は、記載のとおり4年ぶりに開催ということでございます。内容については地区社会福祉協議会のほうで現在検討しているところでございます。

以上、事業計画の説明でございます。よろしくお願いいたします。

#### ○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、飯山満公民館さん、よろしくお願いいたします。

#### ○飯山満公民館長

飯山満公民館の該当期間の計画についてご説明いたします。

初めに、青少年対象、「ハッピーサタデー事業」です。10月、ゲーム・クラフトと書いてありますが、ピニャータづくりをします。ピニャータとは、メキシコのお祝い事によく使われる紙で作られた日本のくす玉のようなものの中にキャンディなどのお菓子を入れ、棒で叩いて割るゲームだそうです。そのピニャータをつくるそうです。11月は、青少年相談員二宮・飯山満地区を講師にカーレットを行います。

次に、成人対象事業、「知らない私をみつけよう！Part 2」です。昨年度、同じ講座名

で、笑い文字、発酵調味料づくり、パーソナルカラーセミナーの3回講座で、大変好評のうち、新しい利用者の取り込みにも成功したので、今年度 Part 2 として、ライオン株式会社のお洗濯マイスターによるお洗濯のコツ、本場のベトナム料理、フォトコミュニケーション協会を講師にスマホの自撮りのコツを学ぶ3回講座にしました。また、新たな利用者の開拓につながればよいなと思っております。

次に、「技術を身につけ、あなたも講師に！～そば打ち講習会～」です。この講師は、趣味でそば打ちを習い、全麵協公認そば指導員の免許を取り、サークルを立ち上げ、口コミでいろいろな公民館で講師となっております。リカレント教育の定義にある職業のための知識や技術を習得するのは公民館では難しいかもしれませんが、心の豊かさや生きがいのための学び、どこかで活用できればと思い企画しました。今回はそば打ちと一緒にそばつゆをかえしからつくります。

次に、「はさま建物探訪」です。学芸員でありコーディネーターでもある平山さんを講師に、東京駅と皇居に挟まれた丸の内界隈の明治生命館、旧法務省、法曹会館などの建物について学びながら散策します。毎年外歩きの講座は人気なのですが、今回は20名募集のところ50名の応募があり抽選をしたところでもあります。

次のページに行きまして、地区社協と共催の「剪定講習会」です。年間2回実施しております。

次の「環境学習～プラスチックの削減について考えよう！～」です。こちらは新規事業になります。家庭ごみや日本のプラスチックごみの廃棄量を知り、より健やかな地球のために一人一人が何ができるかを考えるとともに、企業の取組について学習します。こちらは新規事業ですが、計画シートには載せておりません。第1回目は花王グループカスタマーマーケティング株式会社によるプラスチックごみの問題点と削減についての学習をし、2回目に東京都墨田区にあります花王ミュージアムを見学し、企業の取組について学びます。

次に、「就学時健診等における子育て学習」と、「デジタルデバインド対策講座 LINE 体験編」は、記載のとおり行います。

次に、高齢者対象の「飯山満寿大学」です。10月は国際交流講座で、市の国際交流員をお呼びしてベトナムについてお話ししていただきます。11月は、ピアノ、ヴァイオリン、チェロによるオータムコンサートを行います。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、10月から12月まで記載のとおり行います。

次の「デジタルデバインド対策講座 みんなの情報モラル講座」です。こちらは新規事業です。今までスマホの基本的な使い方みの講座が多かったのですが、今回はスマホの基礎知識とともに、スマホの危険、ひやりハット例、フィッシング詐欺やネットトラブルについて学び、高齢者がより安全にスマホが使えるようにする講座です。

次の「シルバー蕎麦打ち教室」は、毎年恒例の地区社協と共催で、60歳以上の男女を対象とした講座になっております。

次の「シルバー男性料理教室」、その他の「ゆびとま子育てサロン」は、記載のとおり行います。

最後のページの「飯山満公民館文化祭」です。11月4日と5日に行います。発表部門は例年と変わりがないのですが、各サークルの高齢化により、いくつかの団体が解散してしまい展示部門が寂しくなり、当館を利用している一般団体に作品を展示していただけるようお願いしている状況です。年に1回練習の成果を発表できる機会なので、各サークルの方々の達成感が味わえるものになるとよいと思っております。また、地域の方が見学し、興味を持ってサークルに入会していただけるよい機会になってほしいと願っております。

飯山満公民館からは以上です。

#### ○大塚委員長

ご苦労さまでした。ありがとうございます。

それでは、最後の薬田台公民館さん、お願いいたします。

#### ○薬田台公民館長

薬田台公民館の事業計画について、ご説明をさせていただきます。

まず、青少年事業の「ハッピーサタデー推進事業」でございます。「交通安全」では、オリジナルの反射板づくりと3画面モニターを使って道路横断中の危険予測と危険回避をシミュレーターで体験いたします。「子どもエコ教室」は、温暖化と太陽光発電の講話と、太陽光でプロペラが回る模型飛行機をつくる予定です。

「学社連携事業 クラブ活動支援事業」は、3回目、4回目の指導となります。

次に、成人事業でございます。「本館家庭教育セミナー」として、「どうしてる？イヤイヤ期」を実施いたします。お子様をお預かりし、保護者向けに実施いたします。グループに分かれて、皆さんの経験やお困りごとを聞きます。グループには子育てボランティアがつかます。臨床心理士である講師は、意見をまとめ結論に導く役割となります。初めてお母さんと離れるというお子さんも多く、保育園に入る準備として頑張ってみますというお母さんもいらっしゃいます。

続きまして、「薬田台南小学校PTA家庭教育セミナー」になります。創立50周年記念ということもあり、家庭教育セミナーを3回実施いたします。1回目は「ネット社会を生きる力」を実施します。

続きまして、「環境講座」になります。先ほど報告いたしました「『森のしくみ』～循環型生ごみリサイクル～」のフォローアップ事業になります。持ち帰ったバケツを再度持ち寄り、1か月後にどのようなになっているのか、堆肥づくりが進んでいるかなど確認し、フォローアップを行います。



続きまして、生涯学習コーディネーターとの共催事業2本になります。

1つ目の事業は新規事業になります。多文化共生事業として、紙芝居と読み聞かせ、国の違い、子育て事情、子育ての楽しさ・悩みについて話し合い、個性の違いを知り、お互いに理解を深めます。「紙芝居 みんなちがってみんなだいすき」は、「みんな違うからおもしろい、一人一人が違うから愛おしい」を伝えていきます。共生社会について生涯学習コーディネーターが中心となり考える事業といたしました。

2つ目は、「やくえんだい街歩き」です。薬円台の歴史を学びながら散策を行います。1回目は郷土資料館見学と次回の街歩きのための薬円台の歴史について講話を行います。2回目は実際に丹羽正伯の供養塔のある高幢庵や神明神社など、薬円台周辺の散策を行います。

続きまして、「スマートフォン講習会」になります。10月は自分のスマホを持参してもらい、基本操作、日常よく使う検索、カメラ、LINE、グループLINEのやり方などを学びます。11月はスマホの基本とキャッシュレス決済を学びます。

続きまして、「ウォーキング講座」になります。足から健康を考え、靴の選び方や歩き方、正しい姿勢で効果的なウォーキングを学ぶことで、健康維持・増進を図ります。ウォーキングは薬円台公園等で行います。

続きまして、目玉事業としております「寄せ植え講座」です。薬円台高校の園芸科と連携し、寄せ植え体験を薬円台高校で行います。初めての事業となります。園芸科で育てた花を4つ、5つ選んで、生徒たちから説明を受けながら寄せ植えに仕立てます。高校生と地域の方の交流の機会となればと思っております。また、家に持ち帰って、長く花を楽しんでいただきたいと思います。

すみません、ここで1枚別に配布させていただきました成人講座「文化講演会」になります。郷土資料館との共催事業になり、国の史跡に指定された取掛西貝塚についての講演を予定しております。

戻りまして、「やくえんだい福寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「カンガルーぽっけ」となります。定期的に行っている事業になり、事業内容は記載のとおりとなります。継続して学習や運動を続けることで健康増進・維持を図ったり、必要な知識や啓発を行ってまいります。また参加者の交流の場、仲間づくりの場としております。

続きまして、「就学時健診等における子育て学習」になります。今年度は公民館区の小学校3校全てで行うことになりました。内容は記載のとおりとなります。

続きまして、「福祉まつり」になります。令和4年度は実施できなかったため、久しぶりの開催となります。「つなぐ つながる 地域の輪」をテーマに、地域の多くの団体と連携し、福祉まつりを実施してまいります。

続きまして、「地域緑化支援事業」につきましては、継続して花壇の管理を行ってまいります。

次に、「第 31 回やくえんだい文化祭」になります。昨年できなかったダンスの夕べ、茶道、指圧、焼きそばなどが出店いたします。今年度は発表の部 26 団体、展示の部 12 団体、催し物・模擬店が 8 団体参加いたします。そのほか卓球の集い、囲碁まつり、ダンスの夕べ等を前週に行います。

続きまして、新規事業になります。11 月の 1 か月間を「サークル活動見学・体験月間」とし、社会教育関係団体が行っている活動に興味を持ってもらい、入会のきっかけづくりをサポートいたします。約半数のサークル、51 団体が参加予定となっております。文化祭でチラシを配布することで啓発していきたいと思っております。

薬円台からの報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

5 館全ての館長さんより説明をいただきました。皆さんのほうで何かご質問、またはご意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いします。

○本間委員

飯山満公民館の新規事業の環境学習で「プラスチックの削減について」と書いてありますけれども、2 回の講座はそれぞれで募集するんですか。

○飯山満公民館長

いえ、同じです。学級講座で。

○本間委員

必ず 2 つ出なさいよという形。

○飯山満公民館長

そうです。見学だけは駄目なんです。

○本間委員

そういうことですか。どうなっているのかなと思いました。これだったら私も行きたいわというのもあるから。みんな大体どこの公民館もそうですか。

○飯山満公民館長

そうですね。見学だけというのはないですね。

○本間委員

見学はもう大体いいんだけど、2 回、3 回あるやつは結構。

○飯山満公民館長

学習してどこかに行くというのが多いですね。セットで。

○本間委員

もう登録している人が入るところもある。もともと登録しているとか。

○飯山満公民館長

それは寿大学とかのように、年間登録をして1年間のカリキュラムを行う形もあります。

○本間委員

分かりました。新規に皆さん新しい企画をしていらっしゃるから。セミナーも2回とも同じ人が行かなければいけないということ。分かりました。ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかにございませんか。

私のほうから、薬田台公民館長さん。一番最後の「サークル活動見学・体験」ということで、月は11月となっていますけれども、これは関係団体さんがやっているところに体験なり見学をさせてもらうということで、事務局のほうに電話をして、このところに見学したいとか、参加したいということのお知らせを公民館のほうでされるということですか。

○薬田台公民館長

参加は当日自由参加になります。サークルの募集については、4月の社会教育関係団体説明会でご説明をさせていただいて希望を取らせていただいて、それから希望されるサークルさんと協議というか、アンケートを取らせていただいたりしてまとめております。

○大塚委員長

10月頃に公民館にチラシを置いておくから、見てくださいということですね。

○薬田台公民館長

そうです。10月の文化祭のときに皆様にお配りして、文化祭で気になったサークルさんがあったら、11月に見学会をやるのでいらしてくださいという意味合いも含めて配布しようと思っています。

○大塚委員長

この社会教育関係団体って分かりにくい。もうちょっと具体的な固有名詞があると良いですね。

ほかに皆さんのほうで。

お願いします。

○本間委員

広報にもいっぱい出ていますが、二次元コードで申し込みする人の数が多いのか、例えば電話が多いのか、データ的にはどれぐらいですか。

○飯山満公民館長

こちらが若者に向けたかったら二次元コードのみにしてしまいまして、これはどの世代にもやっていただきたいなという場合は二次元コードも載せつつ電話も窓口もOKな状態のチラシのつくり方にしています。うちの場合は。

○本間委員

今はもう、みんな二次元コードでやると楽だから。

○大塚委員長

二次元コードで若者向けなんだけれども、公民館にこういうのがあるんだけどと電話で聞いてもお答えはしてくれるんですよ。

○飯山満公民館長

もちろんです。

○大塚委員長

そういうことですね。この人は駄目というのはないよね。

○飯山満公民館長

ないです。もちろん高齢の方でも二次元コードができる方もたくさんいるので、それで来ていただく分には問題ないです。

○大塚委員長

年齢差は関係ない。

○飯山満公民館長

ないです。

○本間委員

結構みんな多いから、本当に二次元コードでやっちゃったほうが楽なので、どれぐらいのデータが多いのかなと思いました。時代が変わっているから本当に効果がなくなってくる。

○飯山満公民館長

でも、やはり全体を見たら電話のほうが多いかもしれない。1年間通したら窓口のほうが多いですね。

○本間委員

ありがとうございました。

○加瀬委員

今さらこんな質問をするのはおかしいですが、今ちょっと思ったのは、各公民館さんでいろんな講習会をやりますよね。スマホの講習会とか。そうするとソフトバンクの社員が来る。それから、ここにも載っているけれども、明治生命とかアキレスとか、来ていろんな話をする。その会社と利害関係とかそういうのはないですよ。

○飯山満公民館長

うちの花王とかライオンさんとかは、無料なんです。

利害関係はないです。

○大塚委員長

個人的には聞きたい人は聞くと思いますよ。公民館とは関係なしに。これははっきり言っているような問題があります。

○加瀬委員

公民館の事業担当の方はそんなこと考えていないだろうけれども、ここにあるようにアキレスの歩き方とか靴の選び方とか、参加した人がそういうことは一切なかったかもしれないけれども、じゃあ、アキレスの靴を買えばいいのかなと思ひ込む場合もあるかもしれないよね。委員長言われたように、そういうことが後々……。今始まったことではなくてずっとこういうことはあるんだけれども。

○大塚委員長

問題が出たときの対応も今後必要かもしれませんね。

○牧野委員

社会福祉協議会でこういう講座を受けたことがあるんですけども、ずっとそういった話はしません。ですが、最後にパンフレットで「何かあったら来てくださいね」というのは来ます。

○大塚委員長

それでは、9月21日から12月6日についてご説明をしていただいて、ご意見いただきましたけれども、ほかの方はよろしゅうございましょうか。

それでは、各公民館一括してご承認をいただく採決を採りたいと思います。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員承認いただきました。

それでは、その他になりますが、事務局から連絡事項がありましたらお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館の大規模改修工事の概要について、説明させていただきたいと思います。

○大塚委員長

お願いいたします。

○東部公民館長

10月1日から東部公民館は休館となりまして、改修工事に入らせていただきます。

東部公民館の建物は、昭和52年開館から46年が経過し老朽化が進んできた中で、改修工事を行うものでございます。

改修工事の内容につきましては、建築工事・外構工事、電気設備工事、それから機械設備工事の3件の工事になります。

建築工事、外構工事につきましては、資料①から⑩までの項目で掲載しております。2ページ以降でございしますが、平面図を用意させていただきました。この建物は地下1階から地上4階までの建物でございます。資料上段には改修前、下段には改修後の平面図を掲

載してございます。

最初のページに戻りまして、建築工事、外構工事の内容につきましては、外壁や天井・壁・床を改修します。建具については、電車の走行音の防音効果の高めるために二重サッシを導入いたします。

トイレ改修につきましては、1階の女子トイレについて、現在、ブースが1箇所ですが、利用者も多いことから、間取りを工夫してブースを2基に増設するものでございます。

また、⑤「津田沼連絡所内に蔵書を備えた図書コーナーを設置」ということですが、現在、公民館1階ロビーに図書の貸出返却のみの受付コーナーを設けているところでございます。地域との意見交換会の中で、蔵書を備えた図書コーナーの充実の要望が地域のPTAさんからも寄せられたことを踏まえ、隣接している連絡所内に蔵書を備えた図書コーナーを設置します。なお、蔵書数については、約2,100冊程度を予定しております。連絡所の待合ゾーンと図書の閲覧ゾーンを共有して使うことによって、限られたスペースの有効活用を図ってまいります。

⑥の音楽室の設置ですが、これまで音楽室の設置の要望もありましたことから、ちょうどこの部屋に音楽室を設置します。防音効果の高い壁にして、アップライトピアノを設置する予定でございます。

⑦のフリースペース、キッズゾーンというのは、公民館の事業参加者やサークル活動以外の方でも気軽に公民館を利用していただく。例えば、乳幼児連れの保護者の方がちょっと授乳室で休憩したり、子供をちょっと休ませたりするための利用を想定しております。

⑧番の和室2室をカーペット敷きの集会室に変更ということですが、現在3室ある和室のうち2室をカーペット敷きの洋室に変更するものでございます。特に高齢者の方など、直接床に座ることが困難な方が多いことや、和室の利用率が洋室の部屋に比べて低いことから、洋室タイプの部屋に改修します。

貸出部屋2室増設については、以前は公民館施設の半分は消防署であって、この部屋もそうなのですが、その部分については貸出部屋として提供していない部屋でした。この度の改修で、貸出部屋に変更して皆さんの利用に供していきたいと考えております。

最後の⑩番の外構改修については、正面玄関の階段は扇状に広く設置しているのですが、車を脇に停めて荷下ろしするスペースがなく、路上に駐車しながら荷下ろしをしていて大変危険な状況でもございました。階段の形状を工夫することによって、縦列駐車2台分の駐車スペースを設けるものでございます。

電気設備工事については、設備機器の更新、また、LED照明器具の更新や階段・トイレ等には人感センサー付きの照明器具を設置してまいります。

また、この工事契約には含まれておりませんが、別に環境部による工事として、改修期間中に、太陽光発電設備機器を屋上に設置いたします。

次のページ、機械設備工事についてはご覧のとおり、空調設備機器を更新するものでご

ございます。

工事費については、建築工事の契約金額が出ております。建築工事の入札は終わっておりますまして4億6,530万円ということです。現在、市議会が開催されている中で、この契約については、現在ご審議いただいているところです。仮契約は済んでいるものの、本契約については市議会の議決をいただいた後に本契約を締結する予定でございます。

電気設備と機械設備については、これから10月にかけて入札を執行する予定でございます。

総工事費につきましては、まだ予算総額の段階でのお話ですが、8億2,700万円の予算により改修工事を予定しているものでございます。

工期期間については、10月の契約日から7年2月末まで。休館期間については7年3月31日までということで、開館は令和7年4月を予定しているところでございます。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

休館中、職員はどこへ移動しますか。

○東部公民館長

休館期間中、私どもの事務室は中央公民館の3階の事務室脇に応接室がありまして、そのお部屋で事務を執ることになります。電話番号やメール等については変わりなく、お問い合わせを受けさせていただく予定でございます。先ほど計画でお話しさせていただきましたとおり、事業については他の公共施設、前原児童ホーム、または近隣学校をお借りして事業を進めさせていただく予定でございます。

○大塚委員長

今後の運営審議会の会場は、どうなりますか。

○東部公民館長

運営審議会の会場については、東部ブロック内の公民館に会場を設定して、ご案内させていただきたいと思っております。

○大塚委員長

分かりました。

次回、12月の会場はどちらになりますか。

○東部公民館長

12月は飯山満公民館を予定しております。

○加瀬委員

公民館が休みのときは津田沼連絡所が開いていますよね。最後の月曜日はそうですね。

○東部公民館長

はい、津田沼連絡所は開いています。

○加瀬委員

駐輪場はどうなりますか。

○東部公民館長

現在の駐輪場は工事の施工区域に入ってしまうので、駐輪については、連絡所の前のスペースに置いていただきます。

○大塚委員長

ほかに皆さんのほうから意見がなければ、第3回の東部公民館運営審議会を終了させていただきます。本日は長い時間ありがとうございました。

午後5時13分閉会

令和 5年 月 日

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印